

平成30年度大社高等学校PTA教育研修会の実施について

平成30年11月5日（月）午後、有朋館2階大研修室において、「しまね教育の日」の取り組みとして本校PTA主催の教育研修会を開催しました。今年度は、出雲市役所福祉推進課と連携し出雲市聴覚障害者協会の協力を得て、以下のとおりの内容で実施しました。

「手話に触れてみよう！ー初めての方の手話講座ー」

(1) 開会の挨拶、本日の目的・内容の説明 13:20～

講演の講師と手話指導者・通訳者紹介

PTA副会長 矢田 和則 様（研修担当）



(2) ろうあ者の方の講演 13:30～

演題「聞こえないってどんなこと」

講師 おおたき こうじ 大瀧 浩司 様（出雲市聴覚障害者協会事務局長）

豊かな表情、大きな身振り、分かりやすい手話で、保護者や生徒に沢山質問を投げかけられました。一方通行にならない参加型の素敵な講演でした。



平成29年9月に県内初となる「出雲市手話の普及の推進に関する条例」の制定を機に、手話を通して障がいのある方への理解を促進することを目的に、講演会や手話講座等を開催している出雲市の取り組みを大社高等学校は支援します。

(3) グループ別手話講座 14:15～15:10

出雲市聴覚障害者協会の手話指導者4名・手話通訳者4名と参加者が4グループに分かれて、手話を使ってコミュニケーションしました。保護者・教職員20名と生徒（2年JRC部員、家庭クラブ会長・副会長）11名が参加して、笑顔が絶えない終始和やかな雰囲気の中で行なわれました。最後に、家庭クラブ会長の 曾田 千尋さんがお世話になった皆様へお礼の言葉を述べました。



(4) 参加者の感想文より

「聴覚障がいの方への理解を深め、手話を身近に感じることができてよかったです。参加者が少なかつたのが残念ですが、今後も継続してこのような研修を企画して下さるといいと思いました。」
「手話に興味があり、学べてよかったです。少人数グループでわかりやすかったです。」
「やる前はハードルが高いイメージでしたが、やってみるととても楽しかったです。もっと勉強して、コミュニケーションをとりたいと思いました。」